



LPDX オンラインセミナー

「NFT・メタバースに関わる著作権その他の権利問題」のご案内

2022年12月14日（水）18:00よりLIVE配信（約90分）

<セミナー内容>（約90分）

2021年に突如として注目を集めたNFT。

NFTは、自由民主党の「デジタル・ニッポン2022」において、デジタル資産に新たな付加価値を与える技術として捉えられ、その後の「知的財産推進計画2022」でも、NFTに関する具体的な取り組みが検討されています。

昨今は、暗号資産市場の冷え込みもあり、NFTの取引も縮小傾向にあります。

しかしながら、NFTは、単に取引の対象となるだけでなく、それを起点として、現実空間や仮想空間のサービスとの連携を図るなど、用途の広がりが期待されます。

NFTは、メタバースとも親和性の高い技術とされています。企業におけるNFTへの関心は、依然として高い印象です。

本セミナーでは、そうした背景から、著作権その他の知的財産権を中心に、NFTやメタバースに関する法的論点について岡本健太郎氏（弁護士・NY州弁護士、骨董通り法律事務所）よりお話しいただきます。

最後に、講師に加えて、水井大弁護士（LPDX参加）をパネリストとして、金融規制の観点も交えて、ディスカッションを行います。

<セミナー項目概要>

1. NFT・メタバースに関わる著作権その他の権利問題（60 分程度）

●NFT の概要・用途

●知的財産権に関わる問題

- ・著作権に関わる問題
- ・商標権・不正競争防止法に関わる問題
- ・証明書としての利用に関わる問題

●昨今の取組み

- ・法人 KYC（Know Your Customer）
- ・ランダム型販売に関するガイドライン

2. ディスカッション（20 分程度）

3. 質疑応答（10 分程度）

●講師／弁護士・NY 州弁護士 岡本健太郎氏

骨董通り法律事務所

東京弁護士会

【経歴】

ロイター通信社（日本/英国）などを経て、2008 年弁護士登録（61 期）。

神戸大学大学院客員教授、Japan Contents Blockchain Initiative 著作権流通部会
部会長、アカツキ社外監査役なども兼務。趣味はリズムタップ、音楽鑑賞（70's
Soul）と茶道（松尾流）。

近著に『メタバースにおける現実の再現と その権利問題』（アド・スタディーズ
Vol.81）、『NFT と著作権にまつわる諸問題』（コピーライト 2022 年 7 月号）、「エンタ
テインメント法実務」〔共著〕（弘文堂）など。

●ディスカッションパネリスト／弁護士 水井大氏

一般社団法人 弁護士業務デジタル化推進協会 参与

第一東京弁護士会

【経歴】

フィンテックに関連するレギュレーションを専門的な取扱分野とする。主な著作に
「なりすましによる暗号資産流出事案における対応」（金融法務事情 2134 号）、「デ
ジタルオンラインサービスの当人認証のあり方と課題」（ビジネスロージャーナル
No154）、「為替取引分析業に係る規制の考察」（金融法務事情 2193 号）など他多数